



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社ユニマツトそよ風 上場取引所 東  
 コード番号 9707 URL http://www.unimat-soyokaze.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平家 伸吾  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 寺坂 淳 TEL 03-5413-8228  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	10,524	7.3	539	108.6	457	248.6	313	287.0
26年3月期第1四半期	9,809	6.8	258	△35.6	131	△67.2	81	△76.6

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 304百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △29百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	40.00	—
26年3月期第1四半期	9.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	35,272	10,519	29.8	1,341.71
26年3月期	35,387	10,340	29.2	1,318.83

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 10,519百万円 26年3月期 10,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,200	11.1	996	18.6	785	27.9	600	31.2	75.34
通期	44,000	8.3	1,860	6.4	1,400	4.6	1,100	9.6	138.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	8,598,912株	26年3月期	8,598,912株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	758,180株	26年3月期	758,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	7,840,739株	26年3月期1Q	8,333,628株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 3
4. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)の我が国経済は、政府による規制・制度改革などの成長戦略の推進や雇用・所得環境の改善に支えられて、景気が緩やかに回復しており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けつつも堅調さを維持すると予想されます。

介護業界の状況としては、今後75歳以上の高齢者が急増する2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築や介護保険対象範囲の見直し、一定以上所得者の利用者負担引上げ等の各政策について具体的な検討が進められております。

このような環境の中で当社は、引き続き介護施設の拡充と経営基盤の強化に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は105億2千4百万円(前年同期比7億1千5百万円増)、営業利益は5億3千9百万円(前年同期比2億8千万円増)、経常利益は4億5千7百万円(前年同期比3億2千6百万円増)、四半期純利益は3億1千3百万円(前年同期比2億3千2百万円増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [介護事業]

介護事業におきましては、当第1四半期連結累計期間において、4拠点の新規開設及び事業所の統廃合により、介護サービス拠点「ケアセンターそよ風」は、直営で259拠点、F C施設1拠点の合計260拠点(平成26年6月末現在)となりました。

老後を迎える人々の想い、志向するライフスタイルが多様化していくなか、それぞれのシニアライフにあったサービスを提供すべく、人材育成プログラム「4 C研修」を開始し、指導者の育成に力を入れてまいります。さらに、「そよ風ルネッサ」100種類の生涯学習・健康増進プログラムを中心に、営業強化することで、各施設の稼働率向上をはかってまいりました。

介護事業の売上高は104億3千9百万円(前年同期比7億1千9百万円増)、営業利益は9億3千7百万円(前年同期比4億1百万円増)となりました。

#### [その他の事業]

高齢者向けマンション事業におきましては、継続的な営業活動の実施や幅広い顧客ニーズに対応できる施設運営をおこなってまいりました。

出版部におきましてはシニア世代向け情報誌「そよ風プレミアム夏号」を平成26年6月に発売いたしました。

販売促進部におきましては当社プライベートブランド化粧品「ナーシーケア」シリーズの新規顧客の獲得をはかってまいりました。

ハートフルサービス部では、要介護の方でも安心してご利用できるサービスを日帰り旅行の企画を中心に、高齢者関係機関への提案営業を実施してまいりました。

その他の事業の売上高は8千5百万円(前年同期比4百万円の減)となりましたが、不動産事業の販売促進費等の増加により営業損失は7千5百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は352億7千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億1千4百万円の減少となりました。これは主に賞与支給による現金及び預金の減少及び売掛金の増加によるものです。

負債は247億5千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億9千3百万円の減少となりました。これは主に賞与引当金の減少及び未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は105億1千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億7千9百万円の増加となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて2億2千2百万円減少し11億4千5百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によりキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は6千2百万円(前年同期は2億2千7百万円の支出)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益4億1千8百万円、減価償却費2億3千6百万円、賞与引当金の減少額2億4千8百万円、売上債権の増加額1億5千2百万円、法人税等の支払額2億6千9百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1億1千4百万円(前年同期は9千9百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億2千2百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1億7千万円(前年同期は15億6百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払額1億2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月24日に公表いたしました平成27年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従い、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更にもなう影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が14,933千円増加し、利益剰余金が14,933千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は2,320千円減少しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,388,112	1,165,624
受取手形及び売掛金	5,685,279	5,837,710
商品及び製品	13,703	12,658
販売用不動産	774,270	639,272
原材料及び貯蔵品	44,268	44,473
その他	2,836,925	2,861,910
貸倒引当金	△50,861	△51,649
流動資産合計	10,691,697	10,510,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,831,866	9,864,134
土地	3,010,808	3,013,055
リース資産(純額)	5,879,024	5,820,398
その他(純額)	714,441	732,066
有形固定資産合計	19,436,140	19,429,654
無形固定資産		
のれん	451,639	444,964
その他	223,072	217,110
無形固定資産合計	674,711	662,074
投資その他の資産		
差入保証金	1,774,930	1,841,684
敷金	1,894,107	1,925,571
その他	2,245,951	2,193,058
貸倒引当金	△1,330,178	△1,289,121
投資その他の資産合計	4,584,810	4,671,193
固定資産合計	24,695,662	24,762,923
資産合計	35,387,359	35,272,924
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	704,768	619,261
短期借入金	950,000	1,167,000
1年内返済予定の長期借入金	1,691,576	1,778,156
リース債務	129,175	128,740
未払法人税等	349,082	90,695
賞与引当金	560,063	311,416
その他	2,868,434	3,142,858
流動負債合計	7,253,100	7,238,128
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	6,627,968	6,301,219
リース債務	6,234,636	6,202,871
長期預り保証金	2,393,737	2,445,702
退職給付に係る負債	961,890	995,997
役員退職慰労引当金	42,230	12,127
債務保証損失引当金	442	442
偶発損失引当金	—	39,894
その他	732,784	716,568
固定負債合計	17,793,690	17,514,823
負債合計	25,046,790	24,752,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,479,068	8,479,068
利益剰余金	2,761,905	2,950,832
自己株式	△1,147,076	△1,147,086
株主資本合計	10,093,897	10,282,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	290,272	277,330
退職給付に係る調整累計額	△43,600	△40,173
その他の包括利益累計額合計	246,671	237,157
純資産合計	10,340,568	10,519,972
負債純資産合計	35,387,359	35,272,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	9,809,455	10,524,788
売上原価	8,986,131	9,232,918
売上総利益	823,324	1,291,869
販売費及び一般管理費	564,591	752,141
営業利益	258,732	539,727
営業外収益		
受取利息	1,451	2,824
受取配当金	11,116	11,373
貸倒引当金戻入額	45,407	404
遅延損害金	—	16,021
その他	19,263	19,520
営業外収益合計	77,238	50,145
営業外費用		
支払利息	118,065	113,941
支払手数料	71,387	2,165
その他	15,137	15,782
営業外費用合計	204,590	131,889
経常利益	131,380	457,983
特別利益		
固定資産売却益	190	42
特別利益合計	190	42
特別損失		
偶発損失引当金繰入額	—	39,894
特別損失合計	—	39,894
税金等調整前四半期純利益	131,570	418,131
法人税、住民税及び事業税	50,514	55,039
法人税等調整額	17	49,460
法人税等合計	50,531	104,500
少数株主損益調整前四半期純利益	81,039	313,630
四半期純利益	81,039	313,630

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	81,039	313,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110,521	△12,941
退職給付に係る調整額	-	3,427
その他の包括利益合計	△110,521	△9,513
四半期包括利益	△29,481	304,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,481	304,117
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	131,570	418,131
減価償却費	218,895	236,690
のれん償却額	6,674	6,674
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44,263	2,099
賞与引当金の増減額(△は減少)	△261,427	△248,647
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39,182	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	19,173
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	—	39,894
受取利息及び受取配当金	△12,568	△14,198
支払利息	118,065	113,941
固定資産売却損益(△は益)	△190	△42
売上債権の増減額(△は増加)	△209,746	△152,281
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	183	840
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,305	△85,506
未払消費税等の増減額(△は減少)	51,537	△6,370
預り保証金の増減額(△は減少)	△83,033	10,865
未払費用の増減額(△は減少)	150,236	156,520
その他	△28,578	△66,786
小計	66,231	430,999
利息及び配当金の受取額	12,717	14,227
利息の支払額	△117,547	△112,873
法人税等の支払額	△189,369	△269,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	△227,967	62,784
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△122,467	△122,058
有形固定資産の売却による収入	190	42
無形固定資産の取得による支出	△491	—
補助金の受取額	7,507	6,457
貸付金の回収による収入	7,650	1,500
その他	7,694	△650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,917	△114,710
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,205,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△3,450,000	△183,000
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	4,438,200	200,000
長期借入金の返済による支出	△3,541,637	△440,169
自己株式の取得による支出	△999,905	△9
固定資産に係る割賦債務の返済による支出	△23,334	△12,847
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△33,329	△32,199
配当金の支払額	△101,210	△102,334
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,506,216	△170,561
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,834,102	△222,487
現金及び現金同等物の期首残高	2,552,936	1,368,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	718,834	1,145,624

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	介護事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	9,719,502	9,719,502	89,953	9,809,455	—	9,809,455
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,719,502	9,719,502	89,953	9,809,455	—	9,809,455
セグメント利益	536,242	536,242	881	537,123	△278,391	258,732

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、高齢者向けマンション事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△278,391千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	介護事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	10,439,350	10,439,350	85,437	10,524,788	—	10,524,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,439,350	10,439,350	85,437	10,524,788	—	10,524,788
セグメント利益又は損失(△)	937,905	937,905	△75,968	861,937	△322,209	539,727

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、高齢者向けマンション事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△322,209千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。